

一般財団法人 共立国際交流奨学財団

平成 28 年度事業報告書

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

I. 財団の管理・運営

寄附金の受入

株式会社共立メンテナンスからの寄附金（使途不特定、但し一部は株式会社共立メンテナンス奨学基金奨学金 35 名分）及び個人 1 名からの寄附金（現地支給奨学金）を受け入れました。

会議の開催

第 19 回理事会 (平成 28 年 6 月 3 日)

平成 27 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。選考委員会委員 3 名の再任と 1 名の新任が承認されました。評議員選定委員会委員の選任が承認されました。第 16 回評議員会の招集が承認されました。

第 16 回評議員会 (平成 28 年 6 月 17 日)

平成 27 年度事業報告、決算報告及び公益目的支出計画実施報告が承認されました。理事 4 名の再任と 3 名の新任が承認されました。新任期における役員定例報酬額が承認されました。評議員 7 名のうち 4 名が平成 28 年 6 月開催の定時評議員会終結をもって任期満了となるため、評議員選定委員会に提出する候補者の推薦案を決議しました。

第 20 回理事会 (平成 28 年 6 月 17 日)

理事の改選に伴い、新任期における理事長、常務理事が選定されました。評議員選定委員会に提出する候補者の推薦案を決議しました。

第 3 回評議員選定委員会 (平成 28 年 6 月 17 日)

第 16 回評議員会及び第 20 回理事会からの推薦に基づき、3 名の再任と 1 名の新任が承認されました。

臨時理事会（決議の省略の方法による） (平成 28 年 10 月 31 日)

理事の利益相反取引が承認されました。

第 21 回理事会 (平成 29 年 3 月 6 日)

平成 29 年度事業計画、収支予算及び平成 29 年度奨学生 50 名が承認されました。第 17 回評議員会の招集が承認されました。

第 17 回評議員会 (平成 29 年 3 月 14 日)

平成 29 年度事業計画及び収支予算が承認されました。

内部統制の整備

（「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」第90条第4項第5号及び同法施行規則第14条に規定する体制の整備）

決定及び決議は特にありません。

Ⅱ. 奨学金支給事業（継続事業1）

留学生奨学金の支給

一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金（月額10万円・期間2年間）を、平成27年度生15名及び平成28年度生15名、合計30名に平成28年4月から平成29年3月まで支給しました。

（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金（月額6万円・期間1年間）を、平成28年度生32名（採用辞退2名、11月より1名辞退の為）に平成28年4月から平成29年3月まで支給しました。

現地奨学金を、ベトナム3名、ミャンマー3名、カンボジア3名、ラオス3名計12名に支給しました。

選考委員会の開催

第24回選考委員会（平成29年2月24日）

奨学金対象校から推薦のあった平成29年度応募者306名及び現地（カンボジア・ミャンマー・マレーシア・インドネシア）選考会において選考された9名について、審査の結果、一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金15名、（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金35名の合計50名を平成29年度奨学生候補者として選考しました。

現地奨学生選考会の開催

奨学候補生現地（カンボジア）選考会（平成28年8月25日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者6名に対し、当財団北原選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、3名が平成29年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。（1名採用取消）

奨学候補生現地（ベトナム）選考会（平成28年8月28日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者7名に対し、当財団北原選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、2名が平成29年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。（2名辞退）

奨学候補生現地（インドネシア）選考会（平成28年10月1日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者12名に対し、当財団大塚選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、2名が平成29年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（ミャンマー）選考会（平成 28 年 10 月 6 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 7 名に対し、当財団大塚選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、3 名が平成 29 年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

奨学候補生現地（マレーシア）選考会（平成 28 年 10 月 8 日）

日本の教育機関（日本語学校）に進学を希望する応募者 9 名に対し、当財団大塚選考委員、菊川選考委員が日本語による面接を行い、2 名が平成 29 年度（株）共立メンテナンス奨学基金奨学金奨学候補生に選ばれました。

Ⅲ. 国内・外の留学生に対する生活・学習情報提供事業（継続事業 2）

財団紹介のパンフレット『一般財団法人共立国際交流奨学財団（紹介・情報案内）Vol.22、23』、情報誌『アジア文流 Vol.39、40』、留学生のための日本生活案内『留学生生活手帳（第 5 版）』、留学生のための就職情報誌『共立・桜 Vol.17』を出版し、関係機関、他財団、大学、専門学校、日本語学校及び奨学生などに配布しました。

Ⅳ. 国際交流活動への支援（継続事業 3）

イベントの開催

第 4 回「日本語体験コンテスト in プノンペン」

当財団主催、文部科学省・在カンボジア日本国大使館・全日本空輸株式会社プノンペン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 28 年 8 月 25 日、カンボジア・プノンペン市 SUNWAY HOTEL を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 120 名のうち 62 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、17 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 7 泊 8 日（平成 29 年 1 月 17 日～24 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通して、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 9 回「日本語体験コンテスト in ホーチミン」

当財団主催、文部科学省・在ホーチミン日本国総領事館・全日本空輸株式会社ホーチミン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 28 年 8 月 28 日、ベトナム・ホーチミン市 165 NAM KY KHOI NGHIA GUEST HOUSE を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 60 名のうち 44 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、15 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 8 泊 9 日（平成 29 年 1 月 17 日～25 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 19 回「日本体験コンテスト in 大韓民国」

当財団（東京本部・ソウル事務所）主催、文部科学省・在大韓民国日本国大使館公報文化院・日本政府観光局ソウル事務所・東亞日報・全日本空輸株式会社ソウル支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 28 年 9 月 10 日、大韓民国ソウル特別市ロッテホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、大学院生・大学生を対象として、大分、宮崎、熊本、鹿児島、沖縄で「実現したい夢」「体験したい事」をテーマに企画を募集しました。

応募者 33 名の中から、書類選考で選ばれた 16 名の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい、審査委員による採点審査の結果入賞者 5 名が選ばれ、「日本で実現・体験賞」として賞金 300 万ウォンが授与されました。

入賞者 5 名は、平成 29 年 3 月 12 日までにそれぞれの日本体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

第 14 回「日本語体験コンテスト in 上海」

当財団（東京本部・上海委託事務所）主催、文部科学省・在上海日本国総領事館・全日本空輸株式会社上海・杭州支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 28 年 9 月 24 日、中華人民共和国上海市甘泉外国語中学校を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本の高等教育機関に留学を希望する学生や、日本語を学んでいる中国の高校生・大学生を対象に実施し、応募総数 94 名のうち 76 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、17 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 4 名（1 名参加辞退）は「共立賞」として賞品旅行 5 泊 6 日（平成 29 年 1 月 20 日～25 日）に参加し、北海道大学見学、札幌ホームステイ等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 4 回「日本語体験コンテスト in バンコク」

当財団主催、文部科学省・在タイ王国日本国大使館・全日本空輸株式会社バン

コク支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 28 年 9 月 29 日、タイ王国バンコク市パトゥムワンプリンスホテルを会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 75 名のうち 33 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、17 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 8 泊 9 日（平成 29 年 1 月 17 日～25 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 3 回「日本語体験コンテスト in ジャカルタ」

当財団主催、文部科学省・在インドネシア日本国大使館・全日本空輸株式会社ジャカルタ支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成 28 年 10 月 1 日、インドネシア・ジャカルタ市 INTERCONTINENTAL HOTEL を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数 59 名のうち 38 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、17 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 7 泊 8 日（平成 29 年 1 月 17 日～24 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第 6 回「日本語体験コンテスト in ヤンゴン」

当財団主催、文部科学省・在ミャンマー日本国大使館・全日本空輸株式会社ヤンゴン支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを、平成 28 年 10 月 6 日ミャンマー・ヤンゴン市 NOVOTEL YANGON MAX を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生を対象に実施し、応募総数 64 名のうち 52 名が当日参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題 30 問が出題され、20 名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3 分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者 5 名が選ばれました。

入賞者 5 名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行 7 泊 8 日（平成 29 年 1 月 17 日～24 日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、

日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第2回「日本語体験コンテスト in クアラルンプール」

当財団主催、在マレーシア日本国大使館・全日本空輸株式会社クアラルンプール支店後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成28年10月8日、マレーシア・クアラルンプール市 JW MARRIOTT HOTEL KUALA LUMPUR を会場として開催しました。

標記コンテストは、日本語を現地の日本語教育機関で学んでいる学生等を対象に実施し、応募総数24名のうち22名が参加しました。

午前中に行われた予選会では、日本の時事・文化・歴史等に関する選択式の聴き取り問題30問が出題され、12名が予選を通過し、午後の本選会に出場しました。本選会では、3分間の即興スピーチを行い審査委員による採点審査の結果、入賞者5名が選ばれました。

入賞者5名は「夢・日本体験賞」として賞品旅行8泊9日（平成29年1月17日～25日）に参加し、日本の大学訪問、富士河口湖小旅行等のプログラムを通し、日本の教育環境、文化などに触れ日本について理解を深めました。

第17回「日本人学生の『アジア体験』コンテスト

当財団主催、文部科学省・外務省・産経新聞社後援、株式会社共立メンテナンス協賛の標記コンテストを平成28年10月29日、東京ガーデンパレスを会場として開催しました。

標記コンテストは、大学院・大学・短大・専門学校生を対象として、対象国を「インドネシア・カンボジア・ミャンマーのいずれか1カ国」とし、テーマを「①日本語教育体験あるいは日本語教育の現状調査、②現地で必要な産業の調査、③現地に進出している日本企業等の調査、④医療・サービス業の現状調査」として企画を募集しました。

書類選考による一次審査を通過した18名の面接を実施、各々の企画をプレゼンテーションしてもらい、審査委員による採点審査の結果入賞者5名が選ばれ、「夢・アジア体験賞」として賞金30万円が授与されました。

入賞者5名は、平成29年3月25日までに、それぞれのアジア体験企画を実施し、その報告書を提出しました。

助成金の支給

日本人学生の「国際ボランティア支援基金」

日本人学生（高校生・専門学校生・短期大学生・大学生）を対象に、アジアに関する「国際ボランティア」の企画を募集し採用された企画に助成金の支給（一口15万円・今年度採用者2名、うち1名辞退）を行いました。

採用者は、平成29年3月31日までに企画を実施し、その報告書を提出しました。

研修会の開催

奨学生及び一般学生（留学生・日本人学生）も参加し、相互理解と国際親善交

流を促進するための研修会を実施し、訪問地におけるホームステイ、史跡・歴史的建造物見学、ディスカッション等を通して、日本の文化・歴史・自然についても理解を深めました。

<各研修会報告>

第96回 奨学生研修会

開催地：長崎県 長崎市

開催期間：平成28年5月27日～29日 2泊3日

参加者：一般財団法人共立国際交流奨学財団 平成27・28年度奨学生30名

内容：歴史的文化的な名所を巡るウォークラリーなど

第97回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、一般財団法人北海道国際交流センター

開催地：北海道 函館地域

開催期間：平成28年8月16日～21日 5泊6日

参加者：留学生14名

内容：ホームステイ、ファーム体験など

第98回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、美幌町国際交流推進委員会

開催地：北海道 美幌町

開催期間：平成28年8月24日～29日 5泊6日

参加者：留学生13名

内容：ホームステイ、学校交流、レスキュー体験、華道体験、ちぎり絵体験など

第99回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、標津町観光協会

開催地：北海道 標津町

開催期間：平成28年9月1日～6日 5泊6日

参加者：留学生13名

内容：ホームステイ、ジャングルカヌー、郷土料理づくり、サーモン科学館見学、知床遺産視察など

第100回 研修会

開催地：沖縄県 東村

開催期間：平成28年9月12日～17日 5泊6日

参加者：留学生37名

内容：ホームステイ、農業体験、沖縄観光、マリン活動体験など

第101回 研修会

共催：一般財団法人共立国際交流奨学財団、標津町観光協会

開催地：北海道 標津町

開催期間：平成 29 年 2 月 8 日～13 日 5 泊 6 日

参加者：留学生・日本人学生 18 名

内容：ホームステイ、冬祭り、スキー体験、サーモン科学館見学など

第 102 回 研修会

開催地：沖縄県 伊江島

開催期間：平成 29 年 2 月 13 日～18 日 5 泊 6 日

参加者：留学生・日本人学生 24 名

内容：ホームステイ、海岸清掃、沖縄観光など

V. 日本語教育施設の設置及び運営

日本語教育施設として共立財団日語学院の管理及び運営を平成 28 年 4 月から 9 月まで行いました。

20 周年記念事業として、東京都に認可を申請しておりました「学校法人 共立育英会」、「各種学校 共立日語学院」は、平成 28 年 7 月 19 日に行われた第 4 回東京都私立学校審議会（第 755 回）において、設立・設置認可が適当と認められ、平成 28 年 10 月 1 日に独立しました。

第 17 回理事会で可決されました学校法人共立育英会への設備及び備品等の寄附、初年度運営資金寄附を実行しました。

VI. 留学生寮の設置及び運営

留学生の生活支援を行うため、つつじヶ丘男子学生会館・相模大野学生会館の国際交流会館 2 棟の管理及び運営を、また全国 6 地域（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・福岡）で「学習奨励寮」の運営を行いました。

日本人学生対象の「留学生生活アシスタント制度」平成 29 年度生 1 名に 1 年間無償で寮を提供しました。

また、賃貸用不動産「共立財団湯島ビル」の管理及び運営を平成 28 年 4 月から 9 月まで行いました。

第 17 回理事会で可決されました学校法人共立育英会への建物（共立財団湯島ビル）寄附を実行しました。